

□主な内容

【JCOMM賞候補募集、「エコ通勤」の公募】

モビリティ・マネジメントの普及を目指して、JCOMMは表彰すべき個人や団体を募集しています。一方、国土交通省はエコ通勤をおこなう事業所を公募しています。

【アジアEST地域フォーラム、カーフリーデーアジア会議の開催】

国際的な取組みとして、環境省などはシンガポールで第3回アジアEST地域フォーラムを開催しました。また、カーフリーデー・ジャパンは横浜でカーフリーデーアジア会議を開催します。

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 20 回)

- 「あなたの思い描く EST での生活は楽しいですか？」

【大阪大学大学院工学研究科 松村暢彦】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 20 回)

- 「広島市における「環境と交通」をテーマとした環境学習について」

【広島市道路交通局道路交通企画課交通環境担当課長 三木登士也】

3. ニュース／トピック

- 平成 20 年度 JCOMM 賞候補募集について【JCOMM】
- モビリティ・マネジメントによる「エコ通勤」の公募について【国土交通省】
- 平成20年度地域公共交通活性化・再生総合事業の公募開始【国土交通省】
- 第13回「エコルールマーク」の認定について【国土交通省】
- 「エコシップマーク」制度の創設について【国土交通省】
- E10対応車を大臣認定 ～大阪府で走行試験を開始します～【国土交通省】
- 平成20年度グリーン物流パートナーシップ推進事業の募集を開始【社団法人日本ロジスティクスシステム協会、社団法人日本物流団体連合会、経済産業省、国土交通省】
- 第3回アジアEST地域フォーラムの結果について【環境省】
- 統合バスマップを作成・期間限定配布しました【仙台市】
- 流杉スマートIC社会実験3月29日(土)正午スタート【富山市】
- ますます便利に とよたおいでんバス【豊田市】
- 「かしこいクルマの使い方を考える」プロジェクト取組結果【和泉市】
- バスレーンのカラー舗装で認知度が 20 ポイント増加【兵庫県】

- 新たなエコショッピング「エコミュージアム」の開始について【神戸市】
- バイオディーゼル燃料の実証実験【JR東日本、JR日本コンサルタンツ、JRバス関東】
- モビリティ・マネジメント入門「人と社会」を中心に据えた新しい交通戦略【学芸出版社】
- ロンドン市長がカーシェアリングのネットワーク拡充計画を発表【ロンドン】

4. イベント情報

- おおさか ATC グリーンエコプラザフォーラム IN 大阪【2008/3/26】
- めざせ! 温暖化政策トップランナー シンポジウム【2008/4/3】
第2回「中長期を見据えた温暖化防止政策 ～欧米の法制度に学ぶ」
- フォーラム ハーマン・クノフラッハー氏を囲んで【2008/4/28】
『温暖化とエネルギー危機の時代、都市計画と交通政策を考える』
～Human Behavior in Transport～のご案内
- 第16回環境自治体会議 ゆざ会議【2008/5/28-30】
- カーフリーデーアジア会議 in YOKOHAMA【2008/5/29,30】
- 第三回日本モビリティ・マネジメント会議 in 京都【2008/7/4,5】

5. その他

- 交通エコロジー・モビリティ財団のシンボルマーク決定
- 記事募集中！

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第20回)

- 「あなたの思い描くESTでの生活は楽しいですか？」

【大阪大学大学院工学研究科 松村暢彦】

あなたの関わっている、思い描くESTでの生活は楽しいですか？ESTは続かないと意味がありません。続けるためには楽しくないといけません(人間の本性に照らし合わせて楽しいという意味です)。もし公共交通に楽しさを感じることができなければ、いくら環境問題が至上命題になったとしてもボトムアップのESTはかけ声だけで終わってしまう可能性が大きいでしょう。

そんな楽しさを感じてもらおう活動例として、ひらかた環境ネットワーク会議が行っているバスのってスタンプラリーがあります。毎回、枚方の見所をバスで自由に巡ってもらうイベントで、4月6日には第5回目桜ラリーがあります。毎回、多くの意見をもらうのですが、どの意見も理屈ではなくバスの車内や地域の面白さや豊かさが直に伝わっていると実感します。そういう経験を通して社会の規範を自然と学ぶことができるし、もちろん街としても環境、渋滞、安全、景観さまざま面で改善されます。そんなまじめさを奥に潜ませた極上の楽しさをたくさんの人たちに感じてもらうために、ごく普通の人たちが参加できる、敷居の低い活動は何だろうと考えることも必要だと思います。なぜなら、そんな人たちが少し意識を、行動を変えてもらうこと

によって劇的にまちが変わっていくのですから。そんな活動が EST 大流行の今、必要とされていると感じています。

ひらかた環境ネットワーク会議の HP : <http://www.hirakata-kankyou.net/>

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 20 回)

●「広島市における「環境と交通」をテーマとした環境学習について」

【広島市道路交通局道路交通企画課交通環境担当課長 三木登士也】

平成19年度、環境省のESTモデル事業推進費を活用し、広島市佐伯区五日市観音小学校をモデル校として、「交通と環境」をテーマにした環境学習に取り組みました。

この取組は、未来の社会を担う子供達がこの学習を通じて環境問題に関心を持ち、また、地域や地球に貢献できる喜びを感じてもらうことで、自ら進んで環境に優しい行動ができるという態度を育成することと、子供を通じて保護者にも同様の意識を持ってもらうことを目的としています。

具体的な学習内容として、導入では、「地球温暖化の現状としくみ」と「マツダ水素自動車の見学」、「環境にやさしい乗り物とは何？」の学習を実施し、体験・実践編として、「電車・バスの体験乗車を通じて乗り物のしくみやマナーについての学習」と、大阪大学大学院の松村准教授による「交通と環境問題のしくみを学ぶ交通すごろくゲームを活用した授業」を行いました。

最後に、学習のまとめとして、児童がポスターを作成し、保護者に見てもらい、これを近隣のショッピングセンターなどにも展示しました。

来年度は、本取組を通じて開発した「交通と環境」学習のノウハウ集を本市の小学校に配布し、総合学習のなかで広く展開していきます。

3. ニュース／トピック

●平成 20 年度 JCOMM 賞候補募集について【JCOMM】

JCOMMは、モビリティ・マネジメントにおける「一連の持続的マネジメント」について、都市・地域のモビリティの質的改善や渋滞、環境問題、公衆の健康増進問題や都市構造問題などの交通に関連する諸問題の解消に向けて、効果的に推進されている個人あるいは団体を表彰しており、候補を募集しています。

http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm/award_19.html

●モビリティ・マネジメントによる「エコ通勤」の公募について【国土交通省】

公共交通利用推進等マネジメント協議会は、人流分野において、公共交通機関の利

用推進等により、自家用自動車からCO2排出量の少ない交通モード等への転換をより強く図っていくことが求められている中で、利用者サイド、交通事業者サイド双方の取組みをマッチングさせた実効性の高い取組みを促進する事を目的に開催されています。平成19年11月20日に開催した、第7回公共交通利用推進等マネジメント協議会において、前述の取組の一環として採択した「モビリティ・マネジメントによる「エコ通勤」促進行動計画」に基づき、エコ通勤の推進を図る事業所の公募を実施します。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/01/010303_.html

●平成20年度地域公共交通活性化・再生総合事業の公募開始【国土交通省】

平成20年度予算において、「地域公共交通活性化・再生総合事業」の創設が政府決定されました。平成20年度予算の成立が前提となりますが、20年度の早期から各地域で取組を円滑に推進して頂くために、3月4日より、本事業の実施に必要となる『①地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画(調査実施計画)』及び『②地域公共交通活性化・再生総合事業計画(総合事業計画)』の認定申請の受付を開始しました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/01/010304_2_.html

●第13回「エコルールマーク」の認定について【国土交通省】

平成20年3月17日(月)に第13回「エコルールマーク(環境にやさしい鉄道貨物輸送を活用して、地球環境問題に積極的に取り組んでいる商品・企業であることを表示するマーク)運営・審査委員会」が開催され、新たに、エコルールマークの商品(3件)と取組企業(3件)を認定することが決定されました。今回の認定により、合計20商品、40企業がエコルールマークの認定を受けることとなりました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/08/080318_.html

●「エコシップマーク」制度の創設について【国土交通省】

国土交通省は、海上輸送へのモーダルシフトを一層推進するため、フェリー、RORO船、コンテナ船等の海上輸送事業者を構成メンバーとする「海上輸送モーダルシフト推進検討会」を設置しています。第2回「海上輸送モーダルシフト推進検討会」において、新たに、海上輸送を一定程度利用するモーダルシフト貢献企業を選定し、当該企業にエコシップマークの使用を認めることとなりました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/10/100321_.html

●E10対応車を大臣認定 ～大阪府で走行試験を開始します～【国土交通省】

国土交通省は、トヨタ自動車(株)から申請のあったE10対応車2台について、3月14日、道路運送車両の保安基準第56条第4項に基づく試験自動車として国土交通大臣認定を行いました。これにより、E10対応車が大臣認定により公道走行するのは2例目になります。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/09/090314_.html

●平成20年度グリーン物流パートナーシップ推進事業の募集を開始【社団法人日本ロジスティクスシステム協会、社団法人日本物流団体連合会、経済産業省、国土交通省】

グリーン物流パートナーシップ会議では、平成20年度に行う荷主企業と物流事業者が協働して取組むCO2排出削減プロジェクトの提案(ソフト支援事業・普及事業)の募集を2月29日(金)より開始しました。グリーン物流パートナーシップ会議において、提案が推進決定されると、提案した企業等は、「ソフト支援事業」に関しては財団法人省エネルギーセンターの支援制度を、「普及事業」に関しては独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の補助制度を活用することができます。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/15/150229_.html

●第3回アジアEST地域フォーラムの結果について【環境省】

環境省は、国際連合地域開発センター(UNCRD)、シンガポール運輸省・陸上交通庁、シンガポール環境水資源省・国家環境庁とともに、アジア地域における環境的に持続可能な交通(EST)の実現を目指して、わが国と国際連合地域開発センター(UNCRD)が共同で設立した政府ハイレベルによる政策対話会合であるアジアEST地域フォーラムの第3回会合を、3月17-19日にシンガポールにて開催しました。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=9491>

●統合バスマップを作成・期間限定配布しました【仙台市】

仙台市では、バス利用者の利便性向上を図り、利用者増・仙台市内の交通渋滞解消・CO2削減・交通事故防止に資する目的で、統合バスマップ「仙台バスマップ」を2008年1月～2月末まで期間限定で2万7千部配布しました。

<http://www.city.sendai.jp/toshi/koutsukikaku/riyou/busmap.html>

●流杉スマートIC社会実験3月29日(土)正午スタート【富山市】

富山市では、流杉PAにおいて、スマートIC設置の効果および整備・運営上の課題を事前に把握するとともに、本格導入に向けて、地域住民の方々の利便性向上、産業経済の活性化、交流の促進等の効果について把握することを目的として、スマートIC社会実験を実施します。

<http://www.city.toyama.toyama.jp/division/kensetsu/douro/nagaresugi/index.html>

●ますます便利に とよたおいでんバス【豊田市】

4月からの廃止が表明された、豊田市内の民間のバス路線「藤岡線」、「保見団地線」、「九久平線(九久平～大沼)」、「豊田北市内線」、「大沼線」は、年間約50万人が利用する重要な路線です。豊田市は、平成18年度に策定した「市公共交通基本計画」に基

づき、基幹バス「とよたおいでんバス」などとして運行を引き継いでいきます。また、これを機会に、路線の変更や増便、運賃の変更などを行います。

http://www.city.toyota.aichi.jp/ex/jouhou/0315/1395786_16933.html

●「かしこいクルマの使い方を考える」プロジェクト取組結果【和泉市】

和泉市では、市民・事業者と従業員・学校など、広く市民に参加していただく「かしこいクルマの使い方を考える」プロジェクトを推進しています。これは、慢性化している渋滞の緩和、交通事故の削減、沿道環境の改善、公共交通利用者の減少への対応及び既成中心市街地の活性化、さらには省エネルギーや地球環境問題への対応など、自動車交通を取り巻く諸問題を改善するために、市民のご協力をいただいて実施していくものです。この度、平成19年度取組結果をまとめました。

http://www.transp-izumi.net/comment/pdf_download/H19PI-6.pdf

●バスレーンのカラー舗装で認知度が20ポイント増加【兵庫県】

「阪神・播磨地域都市交通環境改善協議会」は、バス優先レーンのカラー舗装化と啓発活動がバスや自動車の走行に与える効果や利用者の意識に与える影響等を把握するため、「バス走行円滑化社会実験」を行いました。その結果、自動車ドライバーのバス優先レーン認知度が約20ポイント増加するなど一定の効果が見られました。

http://web.pref.hyogo.jp/press/press_ac021_00003305.html

●新たなエコショッピング「エコミュージアム」の開始について【神戸市】

神戸市交通局では、マイカーから鉄道への利用転換を促進し、環境負荷の軽減を図るため、地下鉄を使って提携店で買い物や食事をすると割引を受けられる「エコショッピング制度」を実施しています。昨年、平成19年2月～5月初旬にかけて、都心ミュージアム4館と提携した「エコミュージアム」を実施しました。期間中418名の利用があり、非常に好評でした。今回、昨年度の4館から7館に提携ミュージアムを拡大し、平成20年3月8日(土)から6月1日(日)まで実施します。

<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/54/tdm/ecos/index.htm>

●バイオディーゼル燃料の実証実験【JR東日本、JR日本コンサルタンツ、JRバス関東】

JR東日本、ジェイアール東日本コンサルタンツとジェイアールバス関東は、JR東日本グループのホテルから排出された廃食用油を原料としたバイオディーゼル燃料の実証実験を行います。バイオディーゼル燃料は、従来の化石燃料と異なり、二酸化炭素の削減や大気汚染物質の低減につながると言われており、本実験は、JR東日本グループの環境への取り組みの一環として行うものです。

http://www.jreast.co.jp/press/2007_2/20080305.pdf

●モビリティ・マネジメント入門「人と社会」を中心に据えた新しい交通戦略【学芸出版社】

学芸出版社は、クルマと公共交通のかしこい使い方を考える取り組みであるモビリティ・マネジメントについて、その理念と実践を解説する本を出版しました。具体例としては、パース、ロンドン、宇治、龍ヶ崎などの先進事例を紹介しています。

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakugei/mokuroku/book/ISBN978-4-7615-2426-5.htm>

●ロンドン市長がカーシェアリングのネットワーク拡充計画を発表【ロンドン】

ロンドン市長は、ロンドンにおけるカーシェアリングのネットワークを拡充する計画を発表しました。2012年までに、ロンドンの人口の50%が徒歩で5分以内に、75%が10分以内に、カーシェアリング車両にアクセスできるようにするという、野心的な計画です。すでに、ロンドンでは複数のカーシェアリング事業者が合わせて1000台以上のカーシェアリング車両を配備しており、人口の21%が徒歩で5分以内にアクセス可能です。今回の目標を達成するための費用は、4年間で430万ポンドと予想されています。

http://www.london.gov.uk/view_press_release.jsp?releaseid=16454

4. イベント情報

●おおさか ATC グリーンエコプラザフォーラム IN 大阪

日時: 2008年3月26日(水) 13:30~17:00

場所: おおさか ATC グリーンプラザ内 ビオトーププラザ

主催: おおさか ATC グリーンエコプラザ実行委員会

<http://www.ecoplaza.gr.jp/img/pdf/forum080326.pdf>

●めざせ! 温暖化政策トップランナー シンポジウム

第2回「中長期を見据えた温暖化防止政策 ~欧米の法制度に学ぶ」

日時: 2008年4月3日(木) 18:30~20:45

場所: メルパルク京都(京都市下京区)会議室 B

主催: 気候ネットワーク

<http://www.kiconet.org/event/20080403.html>

●フォーラム ハーマン・クノフラッター氏を囲んで

『温暖化とエネルギー危機の時代、都市計画と交通政策を考える』

~Human Behavior in Transport~のご案内

日時: 2008年4月24日(木) 18:30~21:00

場所: 東京駅八重洲ビジネスセンター カンファレンスルーム 3C

主催: ジャパン・フォー・サステナビリティ

<http://www.japanfs.org/ja/jfs/event/event080424.html>

● 第 16 回環境自治体会議 ゆざ会議

日時: 2008 年 5 月 28 日(水)～30 日(金)

場所: 遊佐町中央公民館・鳥海自然文化館遊楽里 ほか

主催: 第 16 回環境自治体会議ゆざ会議実行委員会、遊佐町、環境自治体会議

http://www.colgei.org/Zenkokutaikai/16_yuza/top-yuza.html

●カーフリーデーアジア会議 in YOKOHAMA

日時: 2008 年 5 月 29 日(木)、30 日(金)

場所: 横浜市開港記念会館(予定)

主催: カーフリーデージャパン

<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan/e/e8ccc43b5421d395f373f00ba0f36aa3>

● 第三回日本モビリティ・マネジメント会議 in 京都

日時: 2008 年 7 月 4 日(金)、5 日(土)

場所: 京都市国際交流会館

主催: (社)土木学会・国土交通省(予定)

http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm/3rd_jcomm/jcomm_3.html

5. その他

● 交通エコロジー・モビリティ財団のシンボルマーク決定

交通エコロジー・モビリティ財団のシンボルマークとイメージキャラクターが決まりました。たくさんのご応募、ありがとうございました。

http://www.ecomo.or.jp/general/newsrelease/20080325_1.html

● 記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail: EST@ecomor.jp (担当: 市丸)

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局

(交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>